

健康と光線

発行所

〒153
東京都目黒区目黒
4-6-18

(株)東京光線療法 研究所内

サナモア光線協会

年4回発行

会費 年500円

電話 東京 (03)
793-5281
712-5322

秦の始皇帝が徐福を派して不死薬を求めしめた話を持ちだすまでもなく、いつまでも健康で長生きしたいという願望は、人間の欲望の究極の姿でしょうが決して適うことはありません。

しかし有限とはいえ、少しでも寿命を延ばし度いという希望は誰もが抱く当然の願いです。

近年、動物学や医学の世界でも、加齢(老化)現象が新しい実験モデルを用いて盛んに検討されています。その凡てに通暁することは不可能です。そこで今回は前号で約束した、光照射が老化を予防し、寿命を延長する可能性を示唆する基礎的な細胞レベルの研究を紹介します。

なお通常読みつけない術語には一応の説明を加えますが、理解し難い点はお許し下さい。

まず主題を述べるに先立ち、デオキシリボ核酸(以下DNA)について簡単に説明します。

DNAは遺伝子の本体でありその分子内に遺伝に関する全ての情報を含んでいます。例えば

各個体に特有の蛋白質を、共通の素材であるアミノ酸から、寸す。

このDNA修復能が、加齢に伴って段々と低下することが、成人病発症の一因であり、寿命をも規定する可能性があるの

分の間違いもなしに合成するには、DNAの情報を正しく映し取らなければなりません。しかしDNAは多様な原因で障害されます。もしDNAに障害があれば、正しい情報が得られないため、色々な支障を起し得ます。これでは困るので、生体にはDNA修復能があります。現在、ある種の遺伝性疾患で、先天性のDNA修復能の欠損が原因であることが立証されています。この観点に立った研究分野が、分子生物学です。

長寿の秘訣

光照射は生理機能を賦活

サナモア光線協会 宇都宮 光明
医学博士

と、親細胞の平均の寿命になります。この研究結果は、従来からあった老化の突然変異説やエラー説では説明できず、DNAが分裂寿命を決定しているとする説を支持します。

一方、DNA傷害が光照射によって修復される事実は、ここ10年の間に確立しました。

次に細胞融合を同種の若い細胞と老化した細胞で行い、DNAの合成能力や複製能力に、光照射の与える影響を検討した実験を紹介いたします

実験成績は、まさに予想通りで、若い細胞のDNA機能は、老化した細胞の影響で阻害されますが、光照射はこの変化を阻止する方向に作用しました。

これらの実験結果から、細胞寿命はDNAによって規定され加齢によるDNAの変化を、光照射が阻止することは分りました。しかし光照射が細胞寿命を延長すると云うには、まだ十分です。

この点に着目し、実験動物に単細胞動物のゾウリムシを使い

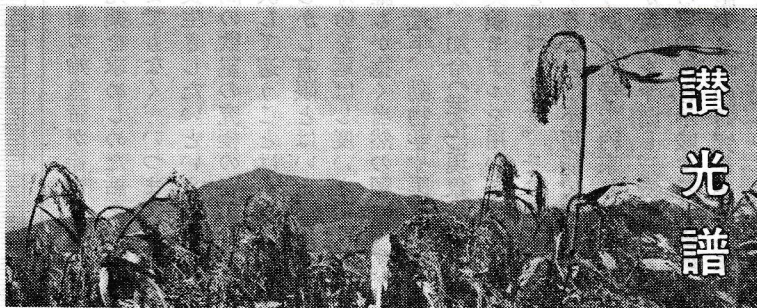
光照射によるDNAの修復を行えば、分裂寿命は明らかに延長することを立証したのが、前号で紹介した、ソンボン教授の実験です。

誤解のないように付け加えますが、細胞レベルの研究で、加齢現象に伴うDNAの修復能の低下が、光照射で改善し、分裂寿命を延ばすからといって、人間の寿命も延びると、短絡的に言う気は勿論ありません。その上、極めて高度に分化した多細胞動物の人間で、寿命の研究を行うことは、多くの難問があり、成績の判定は殆んど不可能です。

にも拘らず、光線は健康に長生きするのに役立っていると考えています。その理由は、学問的に評価することがいかに難しくても、細胞レベルで得られた成績に類する変化は、人間においても起きているからであり、加えて各種生理機能を賦活する作用もあるからです。

昔から、現世で不老不死を得た人を仙人と呼び、仙人は必ず高山に住んでいます。人は本能的に、よい日光、よい空気が長寿に役立つことを知っていて、仙人は山奥に住むことにしたのかなどと、勝手な理屈をつけて悦に入るのも楽しいものです。

讃光譜



「高原の秋」

宇都宮 義真 撮影



神の子として完全につくられたアダムも、神の戒めを破ったために、神の定めた千年の命を保つことができずに九百三十才で死んだのである。武内宿弥の三百才も、或いは同名異人の何人分かの寿命ではなからうか。人間がなぜ年をとって死んで行くのであろうか。ノーベル賞を受け

た南カリフォルニア大学のライナス・ポーリング博士は「人間の組織は、それ自体で更新して、自分で病気を治すことのできる機械であるから理論的には人間は死なない筈である」と述べている。また、ストレス学説で世界的に有名なハンス・セリエ博士も、「人間が年をとる原因が分かれば、それを科学的に阻止することもできると信じて

よい」と述べている。寿命の研究者、ヨハン・ジークステン氏は「病気に対する抵抗力が、十才の時のままであれば、人間の平均寿命は九百才である」と述べているが、十才の子供の体を構成する細胞は、一時間に一％づつ生れ替っているから、体全体が更生するのは

である。そこで、中年以後は何かの方法で老衰を喰いとめて健康長寿を保つことが必要である。

光線には、凡ゆる生物の細胞に活力を与えて、生命を延ばす働きがあるから、光線に遠ざかると健康を維持することができなくなる。

人間は永久に生きられるか

宇都宮 義真

し、細胞の機能を若返らせる効果が大きいから、何時までも若々しい青年の元気を保つ健康法として最適である。

「健康と光線」昭36・2・5発行
中年以後の健康法

「健康と光線」昭37・5・5発行
人間は永久に生きられるか
より要約した。

宇都宮義真三周忌に因んで 光線療法の灯

宇都宮 光明

東京光線療法研究所の創設者宇都宮義真(戒名・慈光院義堂徹真居士)が幽冥界を異にしてから、早いもので来る10月26日には、三周忌を迎えます。

宇都宮義真は、昭和7年に東京光線療法研究所を創立してから、光線療法の研究に没頭し、応召の一時期を除いて40有余年の間、率先して東奔西走、光線療法の啓蒙に全力を尽しました。故人はその一生を人間の健康に奉仕することに捧げた信念の人でした。

宇都宮義真没後、(株)東京光線療法研究所を継承しましたが、今だ若輩の身、事を成すに当っても、故人の意向を考えながら過してきました。この間にも、故人の知己の方々の絶大なご援助と、多くのご愛用者の御引立を戴きました。このことを胆に銘じて、故人が生涯をかけた光線療法の灯を、未来永劫守り続けるため、今後も努力致す所存であります。最後に故人に変わぬご助力、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

(光) 線が人体に影響を及ぼすには、放射された光のエネルギーが吸収されなければならないことは既に述べたが、この際、最初に他覚的に捉えられる所見は、当該部に認める紅斑である。それ故、光線療法に関する研究の黎明期に、紅斑について多方向より検討されているが、蓋し当然であろう。

(光) 線照射後の紅斑を観察すると照射直後に見られるが、速やかに消褪する紅斑と、一定の潜伏期を経て生じ、比較的長期間持続し、その後色素沈着を残す紅斑とに分け得る。

(曾) って紅斑は光線の熱作用によるとされていたが、19世紀にフューム、シャルコーらにより、潜伏期を有する紅斑は、熱を遮断しても生じることから、原因は熱以外にあることが指摘された。この発見が、光線の生理作用についての研究を促す上で、画期的なことだったのである。

(熱) を遮断しても生じる紅斑の原因が、紫外線(冷線又は化

学線とも云う)の作用であることを突き止めたのは、光線療法の始祖と呼ばれる、デンマークのニールス・フィンゼンである。

現在紅斑は、主として紫外線照射に由来する光線性紅斑と、赤外線(熱線とも云う)照射直後に一過性に認める熱性紅斑と大別される。

而して、より詳しく紅斑の性状を検討した結果、光の波長が短くなるに従って潜伏期は延長すると言う通則が確立された。

(L) かし光線はこの点でも相互に影響を与え得る。即ち赤外線による熱性紅斑は局所に充血を起し、寒冷のため皮膚が萎縮することを防ぐ結果、紫外線の吸収を容易にするのである。

応用光線療法学

(3)

□ 紅 斑 の 意 義 □



医学博士 宇都宮 光明

光線療法の始祖、ノーベル賞受賞のニールス・フィンゼン

時間を知る指標の一つとして利用し得ることからも大切である。

は、痛みの状況に応じて、回数回用いることが望ましい理由が理解できるのである。

この作用は、健康人、病人を問わず、また利用者が全く別の目的で使用しても、必ず起るのであり、これが健康法としても、光線が応用し得る由縁である。

(さ) て紅斑の成立機転についての研究から、光線の間接作用、即ち全身性作用の一端が解明されたのであるが、これを述べるに先立ち、紅斑の経過について簡単に要約しておくことは、紅斑を光線が生体に影響を及ぼす

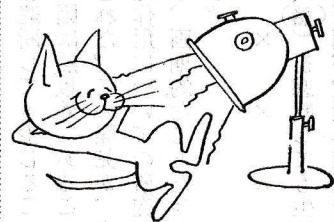
慢性疾患に光線療法を行う際に、最低毎日一回を原則とする根拠の一つになる。

身体の中の部位でもよいが、直接皮膚に光線を照射すれば、皮膚のヒスタミンがヒスタミン様物質に変化して、光線性紅斑を生じると同時に、血管内に吸収され全身を廻る結果、血管を拡張して血液循環を促し、胃酸度を増して食欲を亢める等々の作用をなすのである。

重病人はよく足から照射するが、その理由は、ここが一番かけ易く、未経験者でも不安なく使用できるにも拘らず、効果は全身諸機能に及び、一般状態が改善するため、その後は安心して使えるようになるのである。

(間) 接作用の発見が、光線療法の応用範囲を著しく拡大したことは言うまでもない。と同時に間接作用の効果は、一般に予想するより遙かに有効に生体に作用していることは、多くの研究者が指摘するところである。

光線療法の実用面における大きな役割は、実にこの点にある。



—治験例報告—

☆膝関節炎

症例 40才 女性

症状 2年前より膝関節痛のため正座ができない。

療法経過 BCおよびABカーボンを交互に使用し、両膝十分、膝裏十分を一日二回、腹、腰、足裏各五分を一日一回照射したところ、三週間で正座可能となった。これまで何をしても治らなかったのが、僅かな日数で治ったので、大変に感謝された。

神戸市 ウエノ光線療法

上野 貞子氏報告

☎〇七八—三三二—一三五八

☆全身性湿疹

症例 40才 女性

症状 幼少の頃から、全身性湿疹のため病医院进行転々とし、

漢方薬も服用したが、治っても一時的で再発を繰返す。治療開始時の病状は可成り重症であった。

療法経過 発疹や掻痒感の著しい所には、BCカーボンにて各十分以上(第一集光器)照射し、他に足裏、膝、腰、背、腹、後頭部、喉を各五十分照射した。約一週間で痒みはすっかり止り、熟睡できるようになり、全経過三ヶ月で全快した。

☆足関節捻挫

症例 48才 男性

症状 オートバイで溝に転落

愛用者だより

中耳炎がスツキリ

長岡市 梅本金太郎

我家にサナモアが到着してから一ヶ月になりますが、家族全員で愛用しています。

まず、小生の長年の「中耳炎」が良くなり、気分もスツキリ。家内の皮膚の荒れが二十日できれいに治り、娘のかぜも軽く、しかも家族にうつらずにすみました。毎年、一人がかぜを引くと必ず全員にうつり苦しんだものですが、これには驚いております。

余談ですが、家内の長年の悩みの便秘が目に見えて良くなり、近医にて頭書の診断をうける。患部に内出血あり、腫脹高度にて、痛みのため起立歩行ができない。

療法経過 ABカーボンにて患部を約三時間連続して照射したところ、腫れは著しく減少し、痛みも軽減して、足をそっと床につけて歩行できるようになった。翌日は靴をはいて友人の葬式に出席した。その後、毎日一時間の患部照射を三日間行い、ほぼ症状は消失した。

春日市 前田光線治療所

前田 ミサ子氏報告

☎〇九二—五八一—二〇三九

なりました。ありがとうございます。

乳腺炎を治す

加古川市 平都はるみ

乳腺炎がサナモアで治りました。乳首の先に傷があったので菌が入ったのだと思います。

シコリが出来たので病院へ行ったのですが、大きくなる一方で、手術をする寸前、実家にサナモアがあるの思い出し、BとDで一日二十分照射。すると乳房からウミが出て来ました。ウミは二日程度でなくなりました。一カ月でシコリが無くなりました。この間、全く痛くないので助かりました。

☆緑内障

症例 53才 女性

症状 頭痛、眼痛などあり、眼科医に緑内障と診断され、通院治療をしていたが、経過が

かばかしくないので、光線療法を希望して来院した。

療法経過 光線治療はA又はBカーボンを使用して、足裏十分、腰十分、腹十分、眼および後頭部各五分照射した。

当初約三ヶ月間は、良い、悪いの繰返しで効果も不確かであったが、四ヶ月頃より無症状となり安定したので、通院治療は五ヶ月で打ち切った。

リュウマチに著効

神奈川県中郡 西本 一郎

サナモアのお蔭でリュウマチの治療に顕著な効果を得ております。

リュウマチの原因がはっきり判明せぬためか、なかなか病院の治療がうまくいきませんでした。サナモアの照射により、鎮痛剤を飲まずに痛みをやわらげることが出来ました。又、関節の膨れにも良く効きました。

椎間板ヘルニアにも誠に良く効きました。ありがとうございます。

六ヶ月目からは、主に自宅治療とし、時々来院させて経過を追跡しており、既に三年を経過したが、病状の進行は認められず、順調に推移している。

川崎市 東京光線治療院
海渡 二三氏報告
☎〇四四—七二二—五〇六七

☆慢性関節リュウマチ

マチ

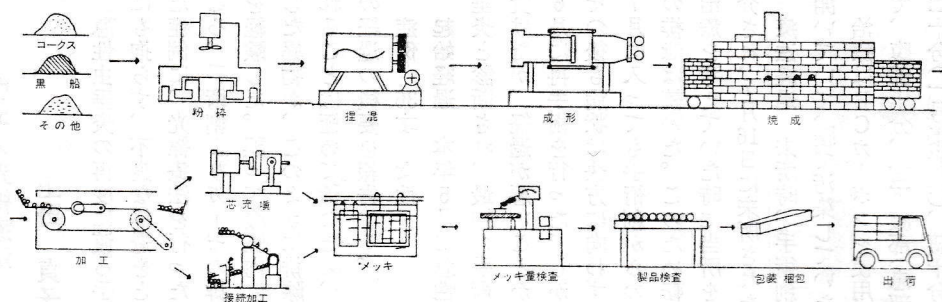
症例 28才 女性

症状 5年前より頭書の診断で、加療中である。本年2月に再発したため、副腎皮質ホルモンを服用、症状は軽快したが、5月、当診療所受診時には、満月様顔貌(ムーン・フェイス)を呈しており、明らかな副作用が認められた。患者も薬害を心配しており、無害有効な治療法を求めて医師より紹介された症例である。

療法経過 ABカーボンを用いて、罹患関節には痛みが柔らぐまで多方向から照射させ、同時に腹、腰、足裏に各五十分かけるように指示した。現在は患者の自覚症を考慮しながら、ステロイドを減量中止したが、症状は落着いている。

サナモア中央診療所
宇都宮光明氏報告

製造工程



四 カーボン

4 製造法

ここでは一般的に用いられるカーボンに限定して、製造工程を簡単に述べます。

カーボンは元素ですから、合成することはできません。換言すれば、カーボンを含む原材料より分離するしかありません。

サナモア・カーボン

揖斐川電気工業・青柳工場

ここに大変に厄介なことがあります。それは既に述べたようにカーボンがあらゆる物質中耐熱温度が最も高く、摂氏三千度でも溶けないことです。

若しカーボン

が容易に溶けるなら、粉末なり塊を、必要な鑄型に流し込むか押し出し成型をすれば、均一な物を造れますが、溶けないためこの方法は使えません。

従ってカーボンを加工するには、原材料で必要な形を作り、酸素を加えないで、摂氏千度～三千度で焼く(乾留と言う)方

法をとります。この点からも原材料の吟味が如何に重要かが分ります。

図に製造工程を示しました。

(1) 粉砕

原料カーボンを必要な性質が得られる粒度にまで粉砕して配合します。

(2) 捏混

微粒子まで粉砕されたカーボン元素と、コールドタルやビツ

複雑な製造工程

重要な原材料の吟味

チ(アスファルトの一種)を捏ねる工程です。

(3) 成形

捏混されたものを熱い間に必要な形に成形します。

(4) 焼成(乾留)

ここではコールドタルやビツチを乾留してカーボンにする工程です。これには摂氏千度乃至三千度のトンネル炉が使われます。この工程は原料を造る時と

製品化する時の2回は最低必要であり、夫々に10日から20日位要します。

(5) 加工

成形時にできなかった細部加工を含めて製品の形に仕上げます。

(6) 芯結

用途目的に応じてカーボンに芯剤を詰めます。

(7) 接続加工

必要な場合に接続して使える

(10) 製品検査

最終的に製品を検査します。

(11) 包装梱包

(12) 出荷

カーボンの製造には、この様に多くの工程を経るため、長い期間を要します。

サナモアカーボンは完璧な品質管理の基に製造しており、安心して御使用いただける事を確信いたしております。

日本に於ける

光線療法事始め

日本の光線療法の沿革を辿ると、明治41年に、フィンゼン灯を簡便にした「フィンゼン・ライオン灯」が、東大病院皮膚科に設置され、次いで明治44年日本の皮膚科の創始者・土肥慶蔵博士が「クロロマイエル水銀石英灯」を渡欧の際に持帰り、主として皮膚科疾患に応用したのが始まりです。

サナモアは、カーボンアークを利用するフィンゼン・ライオン灯を改良したものです。

手術時に腹腔内に残した
ガーゼが排出した一症例

—光線療法治療例より—

ウエノ光線療法

上野 貞子

急性虫垂炎の再度に渡る手術にも拘らず、不良な経過をとった症例に、光線療法を行ったところ、手術創よりガーゼの排出を経験した。誤って腹腔内に残した異物が、このように排除されることは極めて稀なため、その経過の概要を報告する。

症例 36才 女性

起始経過 本年5月に急性虫垂炎と診断され、最初の手術を受けたが、経過が悪いことから6月に再手術を行った。しかしその後も病状は快方に向わず、7月に入っても手術創からの膿の排泄は続いた。このため転医治療を考えていた時に当所を紹介され、7月16日に来所された。

療法経過 来所時、手術創は開いていて、膿で汚染していた。

治療はBCカーボンを使用し、腹部十分、右下腹部(患部)二十分(一号集光器)、腰十分、膝五分照射した。患部照射中、創傷部から膿が流れ出る状態であ

あった。このため一日三回の照射を指示し、昼は当所で治療、朝晩は自宅で行ったところ、一週間の経過で、自覚症および手術創の状態は目に見えて良くなった。二週目よりは、来所は週二回にし、それ以外は自宅で治療を行うようにして、経過観察した。

ところが治療開始後五十日目に患部に白い糸の如きものがあることに気付き、翌日になってはつきりガーゼであることが分ったのである。このことを手術をした病院へ通知したところ、

来院を懇願されたので受診、医師は直ちに長さ30センチのガーゼを抜去した。以後も光線療法を続けているが、急速に快方に向っている。

考案並に結語 ガーゼがどちらの手術で置き忘れられたかは不明であるが、病状悪化の原因がガーゼにあったことは自ずから明らかである。

本例はサナモア光線が異物除去作用を促し、ガーゼを排出したのであるが、サナモアの偉効を示す貴重な体験なので報告した。

謹告

平素はサナモアを御愛用下さり厚くお礼申し上げます。

日頃格別のご厚情を戴いている皆様方に、カーボンの価格改訂をお願いを申し上げます。これは、誠に申し訳なく、心苦しいのですが、ご高承の通りカーボンは石油を原材料として製造しているため、イラン

政変に始まった石油需給の逼迫の影響は、弊社をも渦中に巻き込み、従来通りの最高品質のカーボンを安定して確保

するには、止む得ず値上げせざるを得ない状況になりました。このため7月16日(月)より、10本入1箱一、八〇〇円(A・B・C・Dとも)に改訂させて頂いておりますが、この間の苦衷ご賢察の上、是非ともご了承下さいますようお願い申し上げます。

なお今後ともカーボンの安定供給については、責任をもって当りますので、引き続きご愛顧、お引き立てを賜わりますようお願い申し上げます。

<7号器>

定価 85,000円
送料 6,000円

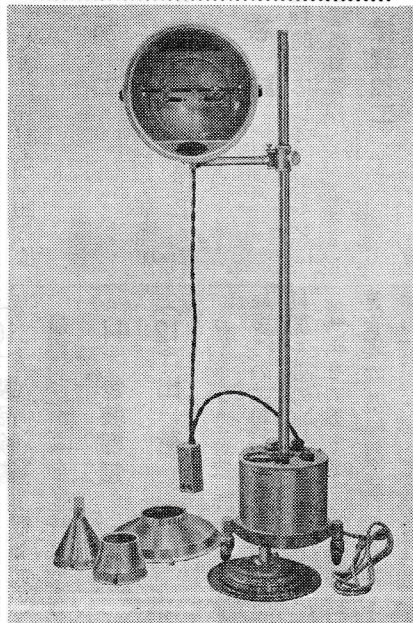
サナモア

発売元

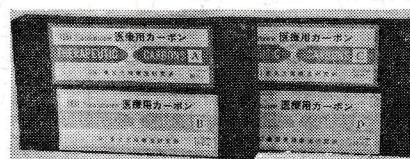
〒153 東京都目黒区目黒四六一十八
(株)東京光線療法研究所
電話東京(03)七九三二五二八
七二二一五三三二

<8号器>

定価 65,000円
送料 5,000円



支柱別売 4,000円



■医療用カーボン

A B C D

1箱10本入 定価 1,800円

■「光線療法学」 (送料別)

(送料別) 1冊 定価 1,000円